

県営水道施設における強靱化対策事業の進捗状況について

1 要旨・目的

県営水道施設における強靱化対策事業の令和3年8月末時点の進捗状況について報告する。

2 現状・背景

県営水道施設の強靱化対策については、「平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興プラン」に基づき、被災した施設の再度災害防止対策とともに、被災のおそれのある施設の未然防止対策の取組を進めている。

3 概要

(1) 対象者

水道用水供給事業の受水市町，工業用水道事業の受水団体

(2) 事業内容

ア 浸水対策

対象10施設のうち4施設は完了し，残りの6施設は令和3年度末までに完了見込みであり，計画どおり進捗している。

完了（4施設）	工事中（6施設）	
<ul style="list-style-type: none"> ・本郷取水場（三原市） ・田口浄水場（東広島市） ・藤江ポンプ所（福山市） ・幸崎加圧ポンプ所（三原市） 	<ul style="list-style-type: none"> ・高陽取水場（広島市） ・戸坂取水場（広島市） ・黒州ポンプ所（大崎上島町） ・浦崎加圧ポンプ所（尾道市） 	<ul style="list-style-type: none"> ・西藤取水場（尾道市） ・小用ポンプ所（江田島市）

イ 土砂災害対策

対象19施設は令和2年9月末までに全て完了しており，計画どおり終了した。

完了（19施設）		
<ul style="list-style-type: none"> ・矢野開閉所（広島市） ・吉浦開閉所（呉市） ・小屋浦開閉所（坂町） ・馬木立坑（広島市） ・坊土浄水場（尾道市） ・西谷立坑（海田町） 	<ul style="list-style-type: none"> ・東谷開水路（海田町） ・本郷埜田浄水場（三原市） ・熊野調整池（熊野町） ・温品浄水場（広島市） ・三ツ石浄水場（大竹市） ・玖波加圧ポンプ所（大竹市） 	<ul style="list-style-type: none"> ・瀬野川浄水場（広島市） ・東海田第2ポンプ所（海田町） ・白ヶ瀬浄水場（広島市） ・下為角接合井（広島市） ・黒州ポンプ所（大崎上島町） ・戸坂着水井（広島市） ・本郷浄水場（三原市）

ウ 水管橋対策

対象3施設のうち2施設は完了し，残り1施設は令和3年度末までに完了見込であり，計画どおり進捗している。

完了（2施設）	工事中（1施設）	
<ul style="list-style-type: none"> ・砂取場水管橋（呉市） 	<ul style="list-style-type: none"> ・城六川水管橋（広島市） 	<ul style="list-style-type: none"> ・4号トンネル水路橋（海田町）

エ 地震対策

7区間のうち1区間は完了。残り6区間のうち4区間は工事中，2区間は令和4年度以降工事予定であり，計画どおり進捗している。

完了（1区間）	工事中（4区間）		R4以降工事（2区間）
<ul style="list-style-type: none"> ・音戸倉橋ライン （江田島市小用地区） 	<ul style="list-style-type: none"> ・音戸倉橋ライン （江田島市柿浦地区） ・音戸倉橋ライン （呉市宇和木地区） 	<ul style="list-style-type: none"> ・安芸灘ライン （大崎上島町中野地区） ・東部配水支線 （広島市） 	<ul style="list-style-type: none"> ・広地区配水支線 （呉市） ・海田配水支線 （海田町）

オ 二期トンネル整備工事

令和4年度未完了の計画で工事を進めており、トンネル全体工事延長 14.3 kmのうち 9.1 kmを完了した（進捗率 63.6%）。

令和3年8月末では掘進延長 11.5 kmを目標としていたが、変更計画で想定していた岩盤よりも、硬い岩盤が長い区間出現しており 2.4 km遅延している。

【変更計画における掘進延長と進捗率】

区分	工事延長【A】	8月末時点の掘進延長 (km)			8月末時点の進捗率 (%)		
		目標【B】	実績【C】	差 (C-B)	目標【D】 (B/A)	実績【E】 (C/A)	差 (E-D)
海田～矢野工区	4.5	4.5	3.6	-0.9	100.0	80.0	-20.0
矢野～二河工区	9.8	7.0	5.5	-1.5	71.4	56.1	-15.3
計	14.3	11.5	9.1	-2.4	80.4	63.6	-16.8

【岩質ごとの延長】

区分	変更計画におけるトンネル掘削約 9.1 kmの地質						
	計画 (m)			実績 (m)			
	海田～矢野工区	矢野～二河工区	計【A】	海田～矢野工区	矢野～二河工区	計【B】	差 (B-A)
軟岩	667	31	698	31	148	179	-519
中硬岩	1,646	3,428	5,074	1,460	1,414	2,874	-2,200
硬岩	1,314	2,018	3,332	2,136	3,915	6,051	2,719
計	3,627	5,477	9,104	3,627	5,477	9,104	0

(3) スケジュール

—

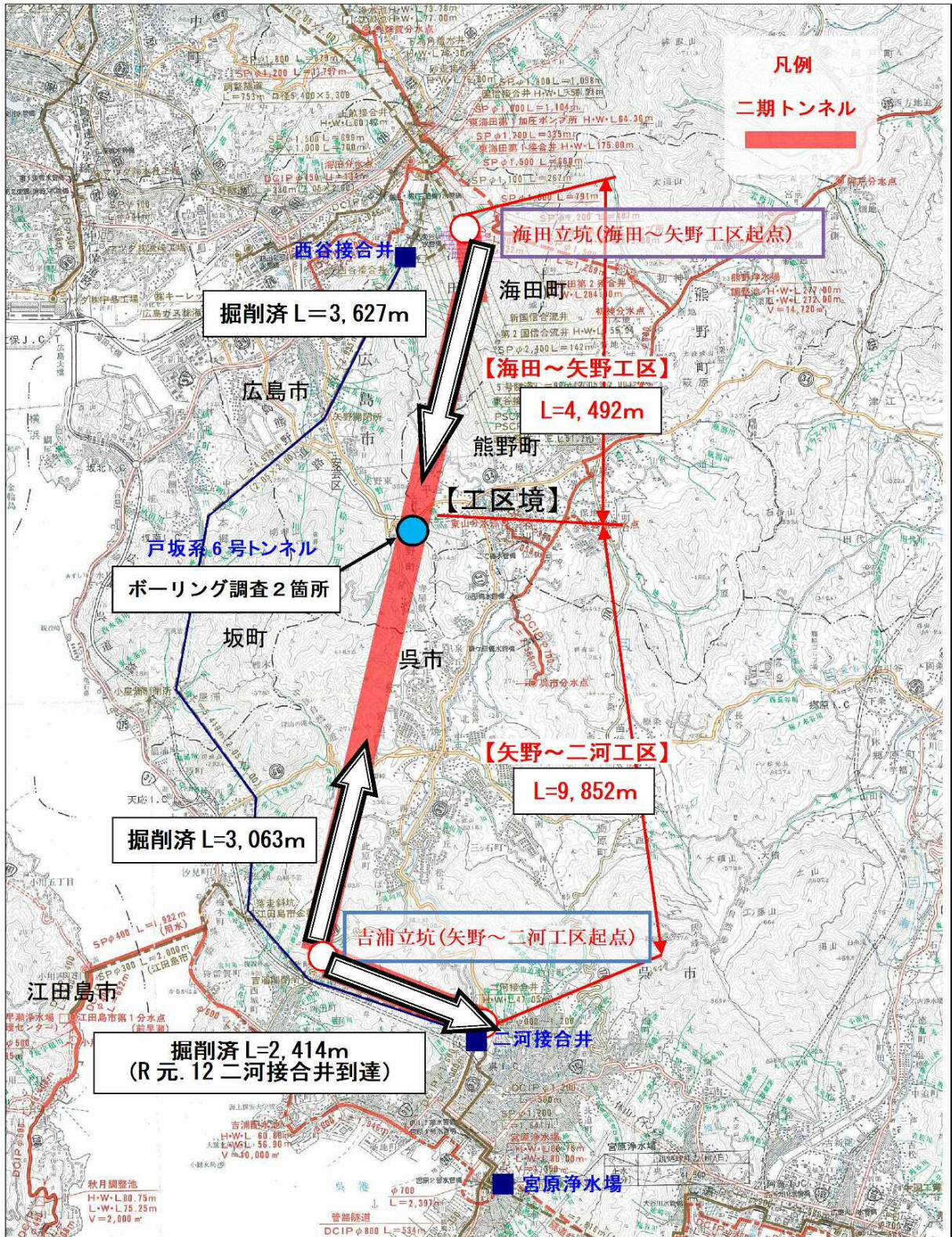
(4) 予算（国費・単県）

6,552 百万円

(5) 今後の対応

- 浸水対策、水管橋対策及び地震対策については、計画通り着実に取り組みを進める。
- 二期トンネル整備工事については、これまでのトンネル掘削実績による地質と当初の地質調査結果を対比し、残りの区間の地質の見直しを進めているが、精度を向上させるため地質調査（ボーリング調査）を実施しており、この結果を踏まえて今後の事業進捗の見通しを整理する。
- 二期トンネルは、非常時の断水被害の影響を回避するうえで重要な施設であり、早期の完成が望まれるため、引き続き3交替制で早期完成に向けて全力で取り組む。

位置図



地理院地図の一部を使用(承認番号 平成20 中復第106号)